

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
大府中部地区

平成23年3月

愛知県大府市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	居住者数	人	36,246	40,000	41,152	確定 見込み		あり なし	41,440	H22年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業等の基盤整備による新たな住宅地の供給が図られ、人口増加に大きく貢献した。
指標2	安全アクセスエリア	%	74	94	94.6	確定 見込み		あり なし	94.6	H22年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	都市計画道路明成深廻間線の開通により小学校の通学路が歩道のある道路となったため、安心性が向上した。
指標3	教育、文化、スポーツ施設利用満足度	%	満足、まあ満足(25%)	満足、まあ満足(30%)	23.6	確定 見込み		あり なし				改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	総合計画策定に係る調査項目の変更により計測不能となった。
指標4	健康診査受診率	%	60.1	67	-	確定 見込み	x	あり なし				改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	平成20年4月に医療保険制度の改正があり、受診対象者が変更となったため計測不能となった。
指標5	共和駅利用満足度	%	満足、まあ満足(3%)	満足、まあ満足(50%)	46.0	確定 見込み		あり なし	91.8	H23年3月	エレベーター設置に併せ、駅広場の歩道や階段の改良を行なったため、予想以上に利用者から満足度が得られた。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	利用満足度の高さからも、利便性が大きく向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	教育、文化、スポーツ施設利用者数	人	600,688	/	647,065	確定 見込み	/	/	667,130	H22年12月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	利用したくなる各種イベントなどの開催により、対象施設の多くで利用者数の増加がした。
その他の数値指標2	75歳以上健康診査受診率	%	25.0	/	28.7	確定 見込み	/	/	31.0	H22年4月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	各種イベント時に啓発した結果、健康への高まりにより受診率増加に繋がったと思われる。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全・便利が実感できるまちづくり	土地区画整理事業による基盤整備を実施	土地区画整理事業の基盤整備を実施したことにより、住宅地、公園等の供給が図られた。	継続的な基盤整備の実施による住環境の向上
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	歩いて暮らせるまちづくり	循環バスのダイヤ見直しを実施	循環バスの利用者数が増加した。	鉄道等とリンクした総合公共交通の構築
	健康増進に文化を付加した魅力あるまちづくり	健康づくりマスコットキャラクター「おぶちゃん」による「おぶちゃん体操」の実施 障がい者アート作品展「パラアートおおぶ」の開催	多くの参加により交流が生まれ、健康や文化に対する意識の高揚を図ることができた。	健康や文化に対する更なる高揚の増進
	ふれあいを大切に活動のあるまちづくり	市民活動センター「コラビア」で「ワンディシェフ」の実施 公園整備に向けた住民によるワークショップの開催	多くの交流により、市民活動のきっかけづくりができた。	団体相互のネットワーク強化

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
市民交流に文化、学習、創造、表現活動を付加した場と 機会の提供	(仮称)文化交流の杜(図書館と交流機能の複合施設)の建設	平成24年度～平成25年度	市民活動を活発化し、多様な交流を創出させる仕掛けづくり